

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

公表

事業所名	こはるび		
保護者評価実施期間	R7年 2月 17日 ~ R7年 3月 5日		
保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
従業員評価実施期間	R7年 2月 17日 ~ R7年 2月 23日		
従業員評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 12日		

○分析結果

事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	サービエ提供時間が長い	保護者の要望を聞いて預かりや送迎を行っている。	送迎、見守り体制の強化。人員の確保。
事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	集団療育がメインだが、個別課題等で個々のニーズにも対応し なかで、ニーズを共有、把握している。臨床心理士による評価 も行っている。	個別支援計画や日々の保護者、学校の担任との申し送りや話の 各職員の、個別のニーズに応えるための支援技術の向上。	
	3		

事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1)アフレコが完全でない。	階層が分かれているため。(手すりは設置している)	1階部分のみで過ごせる環境作り。
1		
2		
3		

事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1階部分のみで過ごせる環境作り。	
2		
3		

事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サード提供時間が長い 保護者の要望を聞いて預かりや送迎を行っている。	送迎、見守り体制の強化。人員の確保。
2	集団療育がメインだが、個別課題等で個々のニーズにも対応し なかで、ニーズを共有、把握している。臨床心理士による評価 も行っている。	各職員の、個別のニーズに応えるための支援技術の向上。
3		

○ 分析結果

事業所名	こはるび
○保護者評価実施期間	R7年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)
○保護者評価実施期間	R7年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)
○従業者評価実施期間	R7年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)
○事業所向け自己評価表作成日	R7年 3月 12日

公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

項目	環境・体制・整備			適切な支援の提供					保護者への説明										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
チェック項目	はい	どちらともいいえ	いいえ	わからない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応												
1	この活動等の入ヘースが十分に確保されていると思いますか。	11			1														子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2														父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいの向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。
3	生活空間は、どこにわりやすく最適化された環境になっていると思いますか。 また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2		1														定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、この遠の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12																	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。
5	このことを十分に理解し、この特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12																	日頃からこのどもの状況を保護者と伝え合い、このどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1														事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）等や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。
7	このことを十分理解し、ことと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サイエード計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12																	放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
8	放課後等サイエード計画には、放課後等サイエードガイドラインの「移行支援」で示す支援内容からこのどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1														事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）等や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。
9	放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12																	放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12																	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）等や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	3		5														放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12																	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）等や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。
13	「放課後等サイエード計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12																	放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）等や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	2	2														放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
15	日頃からこのどもの状況を保護者と伝え合い、このどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12																	放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12																	放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12																	放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
18	父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいの向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	1	2														放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。
19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1																放課後等サイエード計画に沿った支援が行われていると思いますか。

環境・体制整備		業務改善		支援	
1	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		1	利用定員が発達支援室等の入へ入との関係で適切であるか。
2	生活空間は、子どもにわかりやすく構成化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、利用しやすい化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		2	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。
3	生活空間は、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		3	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。
4	生活空間は、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		4	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。
5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。
8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの放課後のニーズや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの放課後のニーズや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。
15	この適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		15	この適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定されているか。	○		16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定されているか。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。
	チェック項目	はい	いいえ		工夫している点

保 護 者 の 説 明	非 常 時 の 対 応				
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	法人で保護者参加型のイベントを企画するなどしている。		
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
43	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	○			
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今後検討していく。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生の想定した訓練を実施しているか。	○			
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状態を確認しているか。	○	アセスメントで確認し、全職員に周知徹底している。		
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づいて対応がされているか。	○	同上。		
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等子どもケアチーム計画に記載しているか。	○			

(別紙 5)

[illegible]

保 護 者 の 説 明 等		非 常 時 等 の 対 応				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		法人で保護者参加型のイベントを企画するなどしている。		
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○				
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関われた事業運営を図っているか。		○			今後、検討していく。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○				
48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○				
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を講じているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				